

みんなで知ろう、話そう、考えよう

輸入食品が食卓に届くまでの管理体制を知り、安全性について一緒に考えましょう。

輸入食品の安全性

カロリーベースで約6割を海外からの輸入品に頼っている日本。今や輸入食品なくして国民の食生活は成り立たないものとなっていることから、厚生労働省では、「輸入食品の安全性」を確保するために、様々な取り組みを行っています。今回、次年度の輸入食品の監視などを効果的に行うための計画案や、輸出国での衛生確保対策について情報提供し、消費者、事業者の皆さまと意見交換を行います。



「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」

1. 開催日時・場所

[東京会場] 令和6年1月30日(火) 13:30-16:20

CIVI研修センター日本橋 N6 HALL

中央区日本橋室町4-1-6 クアトロ室町ビル6F

http://www.civi-c.co.jp/access_t.html#nihonbashi



2. 主催 厚生労働省

3. 募集人数 170人(先着順)

参加無料

4. 内容(予定)

情報提供・講演

① 輸入食品の安全性確保について(令和6年度輸入食品監視指導計画(案))

厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室 室長 福島 和子

② 輸入食品の安全性確保の取り組み(輸出国での衛生確保対策について)

厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室 輸出国査察専門官 白坂 信和

③ 輸入食品の安全・安心にかかる事業者の取り組みについて

株式会社ニチレイフーズ 品質保証部 海外品質管理グループ グループリーダー 坂井 利彦氏

意見交換

ファシリテーター: 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 専門委員 蒲生 恵美氏

登壇者: 上記情報提供・講演者3人

5. 参加のお申し込み期限 令和6年1月19日(金) 17時 必着

- 申込方法(Web・電子メール)は裏面をご覧ください。
- 規定人数に達した場合、申込締切日より前に募集を締め切ることがありますので、ご了承ください。
- 幅広くご参加いただく観点から、同一団体からの複数名の参加はご遠慮いただく場合があります。

6. その他

- 本意見交換会では、意見交換でのご発言内容などを、ウェブサイトで公開します。また、参加者の写真や映像が配信・報道される可能性があります。

本件に関するお問い合わせ先

